

# 先週の回答



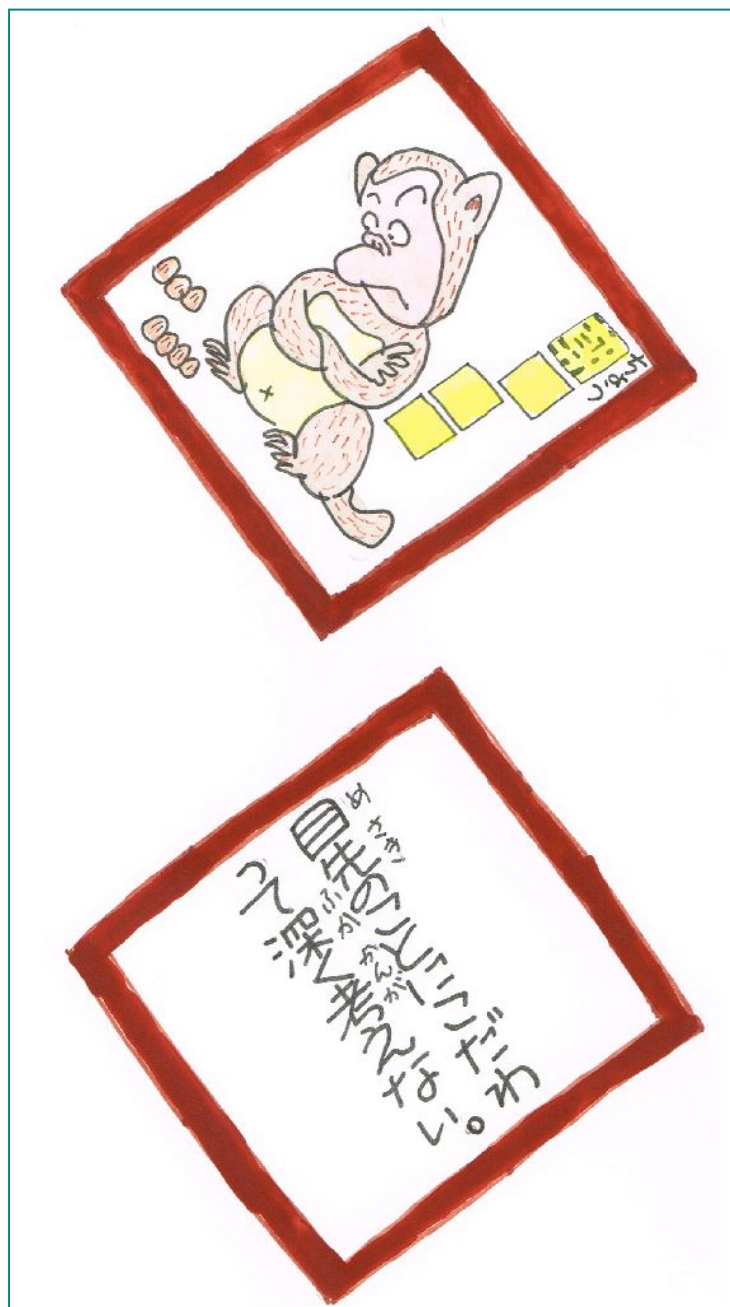
「『だれか鳥の雌雄を知らんや』って何ですか？」  
 「ニワトリは鶏冠があるのがオス、ないのがメス。孔雀は七色のきらびやかな羽根を派手に広げて誇示するのがオスで、地味なのがメス」  
 「オス・メスの区別がすぐわかりますね」  
 「そこへいくとカラスは見た目はオス・メスがまったく同じだ」  
 「たしかに」  
 「カラスのオスとメスを見分けるのはむずかしいことから、よく似ているものの違いを探すのに困難なという意味で『だれか雌雄を知らんや』という」  
 「カラス自身はわかるんでしょうねえ？」  
 「わかるから愛の巣をかまえて子ども

を産むんだらう」  
 「やっぱりカラスは賢い鳥なんですね」  
 「何で？」  
 「だって、人間でも見分けがつかないのにカラスは見分けるんですから」  
 「そういうことを余所で言わんほうがいい」  
 「何ですか？」  
 「笑われつから」  
 「話ばかりですが、カラスはおじいちゃんに似てますね」  
 「どこが？」  
 「おじいちゃんみたいに自分の能力を弁えないのを『鶺鴒の真似をするカラス』っていうんでしょう」  
 「おまえのように機嫌が変わりやすいのを『今泣いたカラスがもう笑う』というんだ」



「おじいちゃんみたなのを『カラスは鳴かぬ日はあつても』お酒は飲まない日はない」  
 「お前みたいな風呂の入り方を『カラスの行水』」  
 「おじいちゃんみたいにムダ骨を折るのを『権兵衛がタネ撒きヤカラスがほじくる』」  
 「おまえのように見えるいたウソを本当だと言い張るのを『鷲をカラスと言いくるめる』」  
 「おじいちゃんみたいに気軽に引き受けたことをすぐ忘れるのを『カラスの請け合い』」  
 「あんたたちみたなのを『似た者はカラス』とおぼあちゃん。」

# 今週の問題



□の中に漢字を埋めて  
四字熟語を完成させてください。